

礼文の森から

宗谷森林管理署
礼文森林事務所



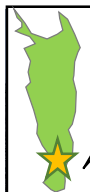
礼文島の雪景色



すっかり冬の気配に包まれた礼文島ですが、去年と比べて暖かい年になっています（★参考 11月10日～12月10日の平均気温 2020年：1.48℃ 2019年：-0.03℃※）。

11月10日に大雪（降水量33mm※）が降り、美しい雪景色が現れましたが、気温は高めなため、その後度々降雪があったにも関わらず、1ヶ月後には雪が少なくなっていました。暖かいと過ごしやすいですが、礼文島の冬景色も待ち遠しいこの頃です。

※参考：気象庁過去の気象データ検索（地点名：礼文）
<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/select/prefecture00>



このあたり



桃岩展望台方面礼文町道から
（上：R2.11月10日撮影
右：R2.12月10日撮影）



森林官の道具紹介 ゾンメルスキー



森林官は山に入るための道具を多数持っています。今回は雪山の見回りには欠かせない重要アイテム、ゾンメルスキーを紹介します。

ゾンメルスキーは裏にアザラシの毛皮（別名：アザラシシール。トドの毛皮を使う場合も）を貼っているのが特徴です。斜面を登る時アザラシシールの毛が逆立つので、若干の傾斜があってもスキーをはいたまま登ることができます。

上の記事で紹介した通り、積雪が少ないため、まだまだスキーの出番はありませんが冬の森林を見るために、早く使うチャンスが待ち遠しいです。



左：冬山作業には欠かせない
ゾンメルスキー＆ストック
右：裏面のアザラシシール